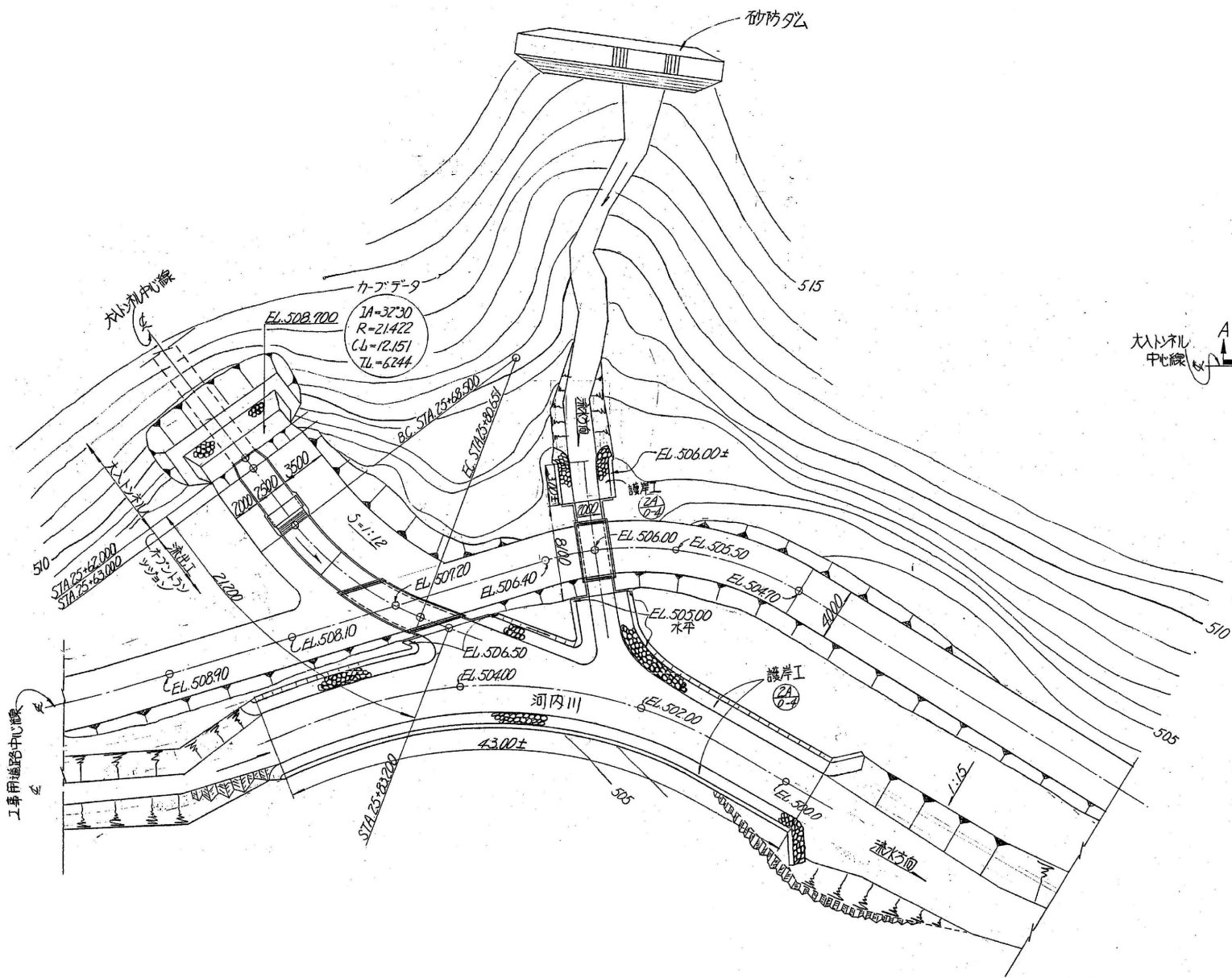
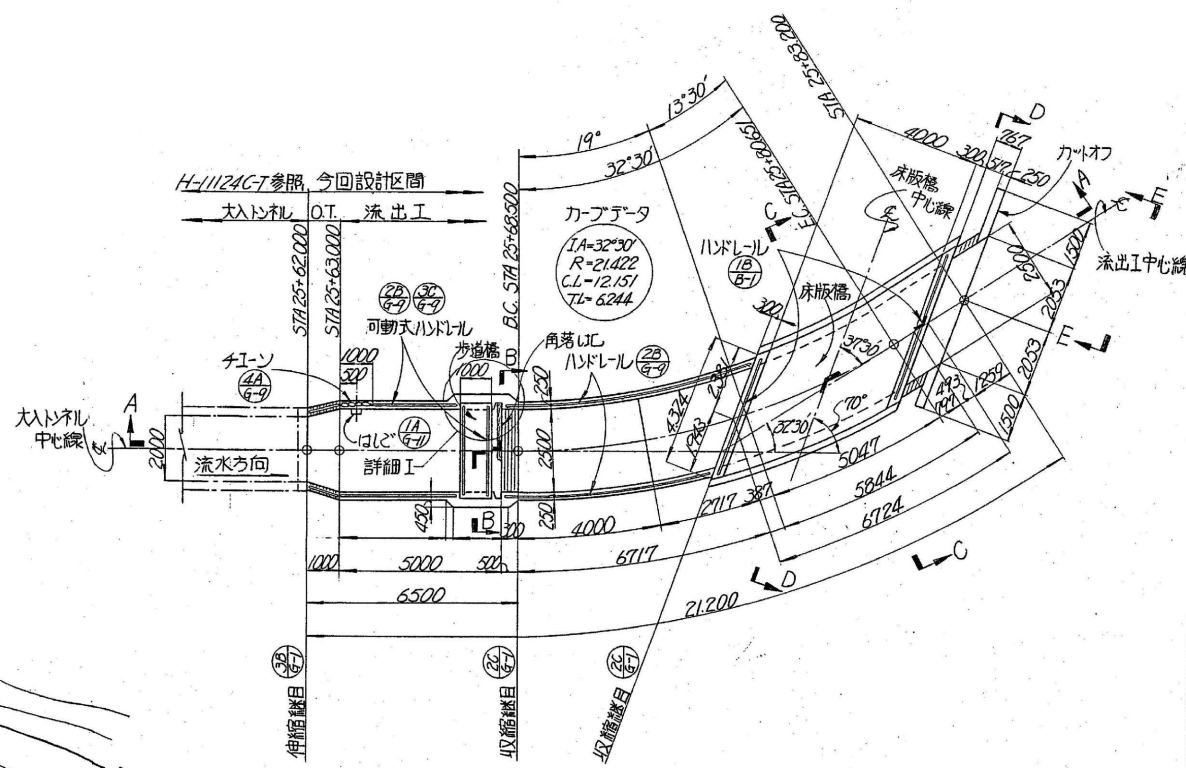
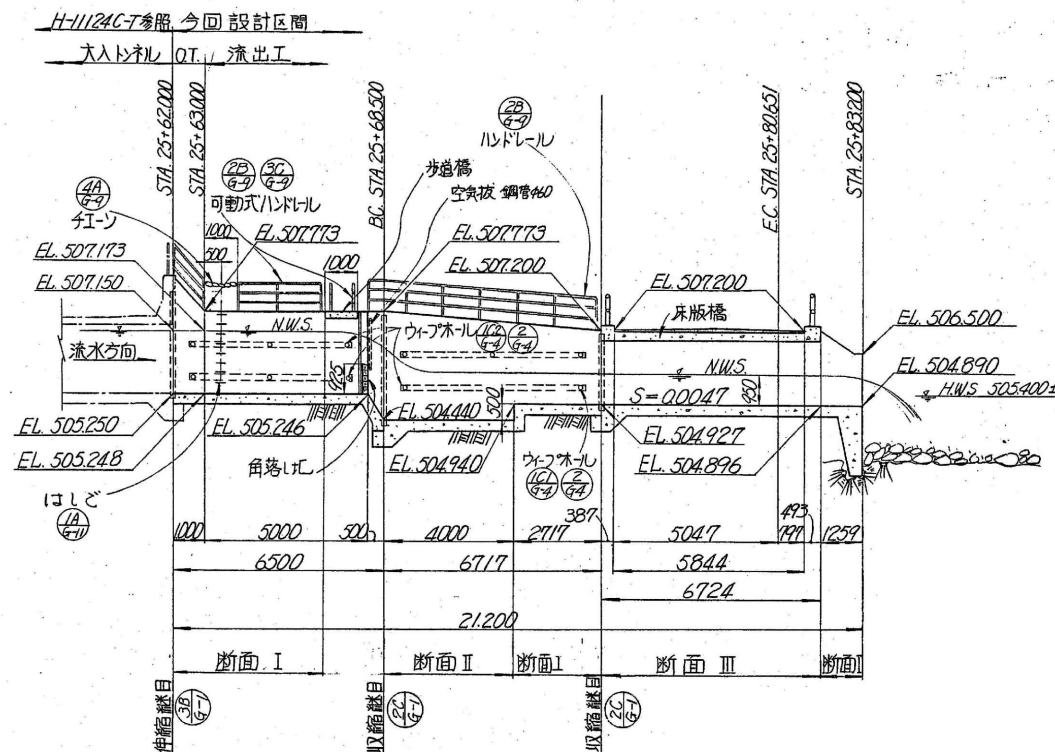




計画平面図
縮尺 1:200



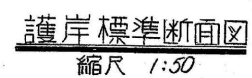
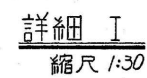
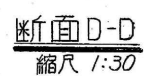
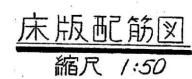
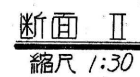
平面図
縮尺 1:100



断面A-A
縮尺 1:100

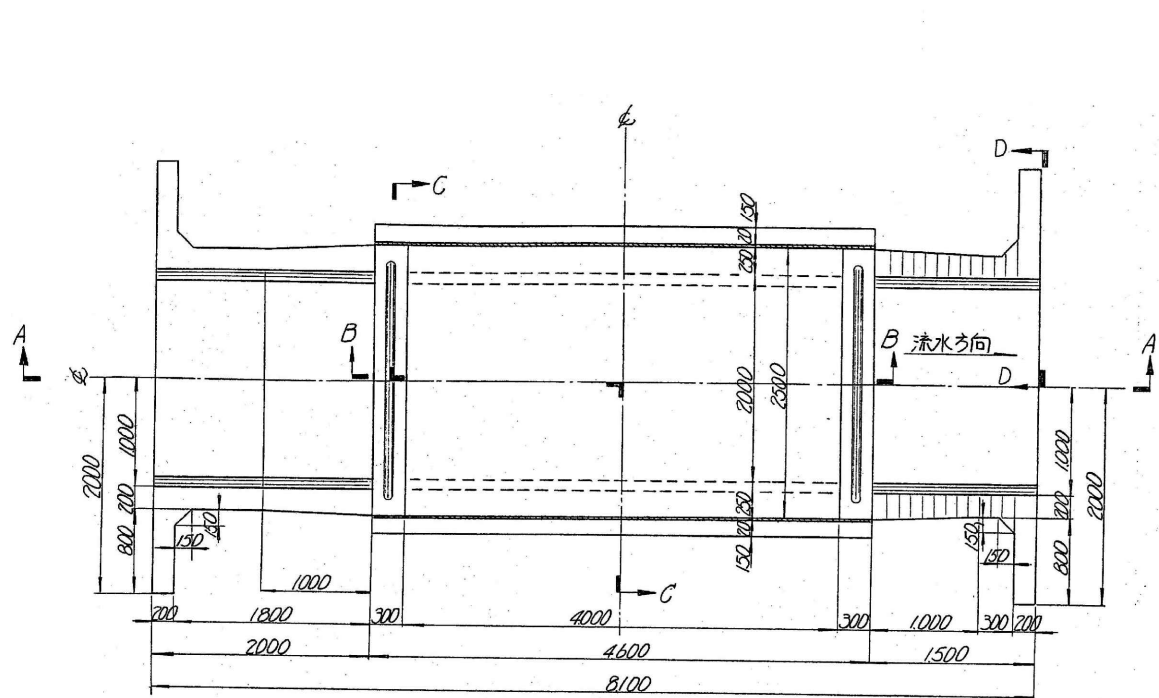
注意事項

- A. 一般
 1. この注意事項は、流域変更大入流出工の基本設計図(H-11129C-M~H-11131C-M)についての基本事項を示す。
 2. 測点標高などは、mmを単位とし、構造寸法はmmを単位とし、測点は水平面を測点としたものである。
 3. 設計図の縦断面図に示す流出工延長および収縮距離などの間隔は、流出工の中心線に沿って測点したものである。
 4. 記号の説明
 - STA-測点、EL-標高、N.W.S-計画水位
 - D-異型鋼の寸法、S-勾配、R-曲率半径
 - ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
- B. 土工
 1. 掘削、埋戻し、盛土はH-11130C-Mに示す土工標準図による。
 2. 本体の基礎はコンクリート施工前に整形し、通掘りなどして基礎を乱してはならない。必要に応じて通掘りした場合は、監督官の指示により適当な材料で、型乾圧によって基礎を構築しなければならない。
 3. 埋戻し、乾圧はA型盛土とする。
- C. 施工中、完全なドライワークとなる様排水を期すること。
- D. コンクリート工
 1. コンクリートの設計強度 $\sigma_{28} = 210 \text{ N/cm}^2$
 2. 粗骨材最大寸法 40mm
 3. 型枠は、メタルホームを原則とする。
- E. 鉄筋工
 1. 全この鉄筋は、異型鋼(SD30)を使用し、特に示す場合のほかはフックを付けない。フックを付けない場合は、鉄筋の長さおよび定着長は30xDとする。
 2. 鉄筋のガブリ(鉄筋の中心線まで)は次の通りとする。
 - 直接地中に打設する床版の外側部 9cm
 - その他 6cm
- F. 工事設計について
 1. 道路、およびその他本体に関係ある個所の排水計画などはH-11129C-Mにより工事設計を行う。
 2. 河内川護岸の詳細設計については、関係部署と協議の上、工事設計で行う。
 3. 流出工出口より下流、河内川に注ぐ小沢と道路の交叉個所は工事設計で行う。

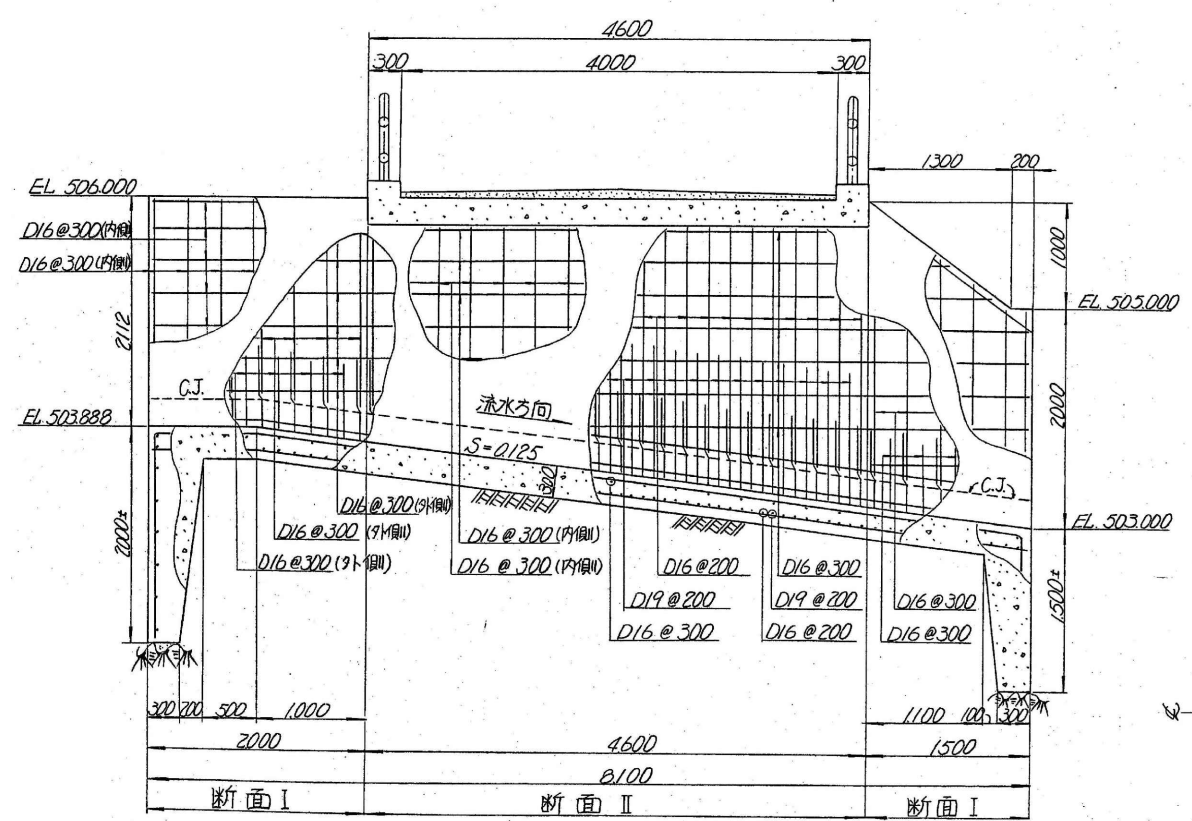


1. カットオフの深さは新鮮な岩に若岩する様
500±切り込むものとする。

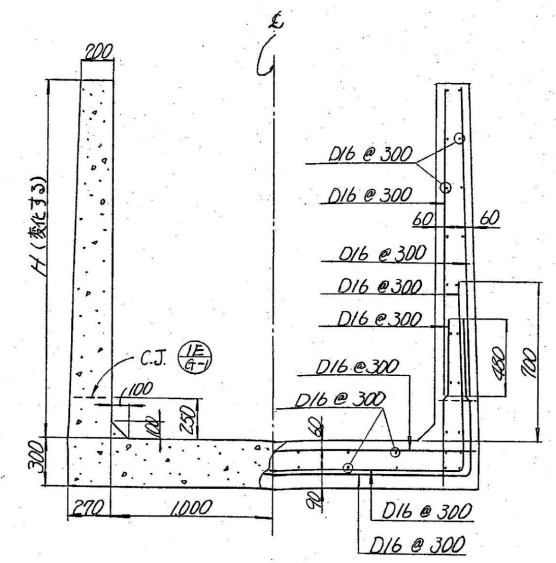




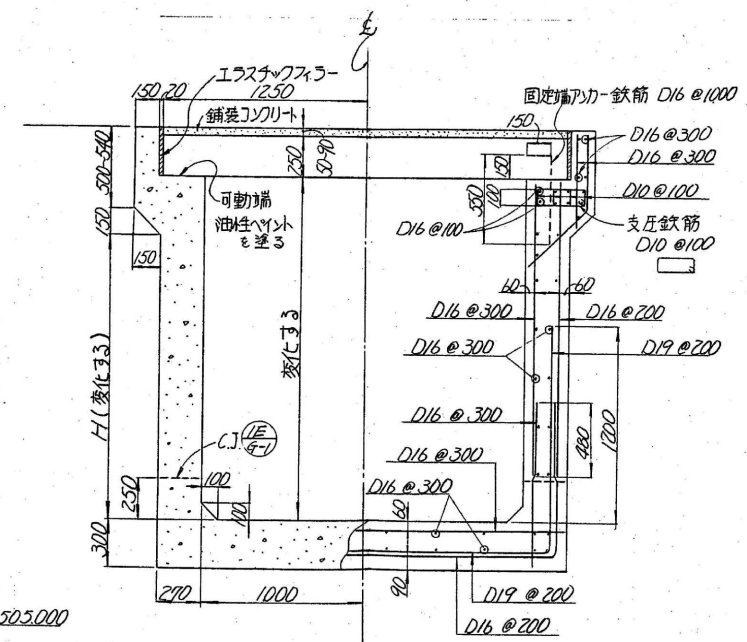
平面図
縮尺 1:30



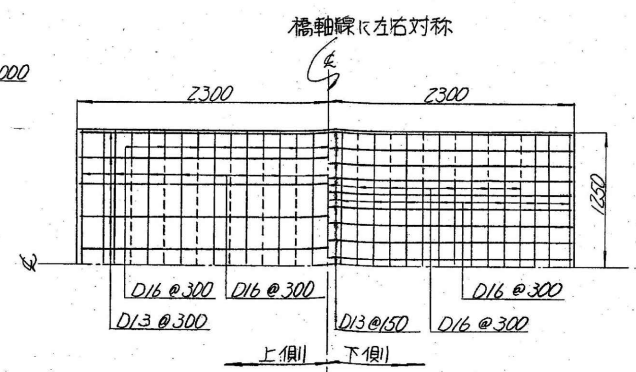
断面 A-A
縮尺 1:30



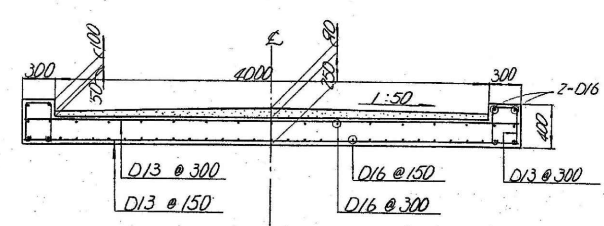
断面 I
縮尺 1:20



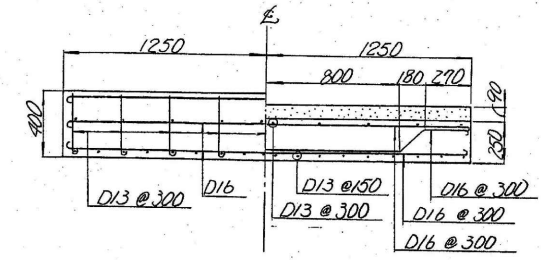
断面 II
縮尺 1:20



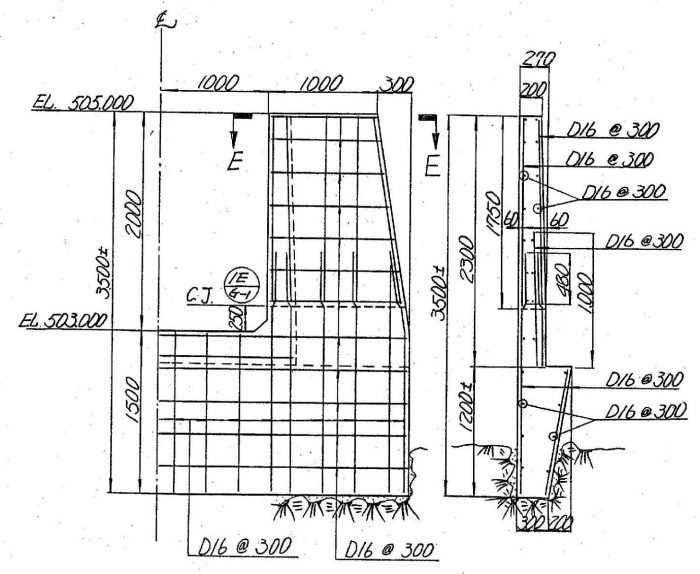
床版配筋図
縮尺 1:30



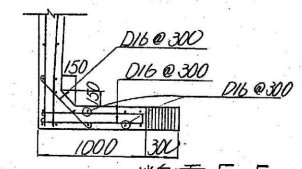
断面 B-B
縮尺 1:30



断面 C-C
縮尺 1:30



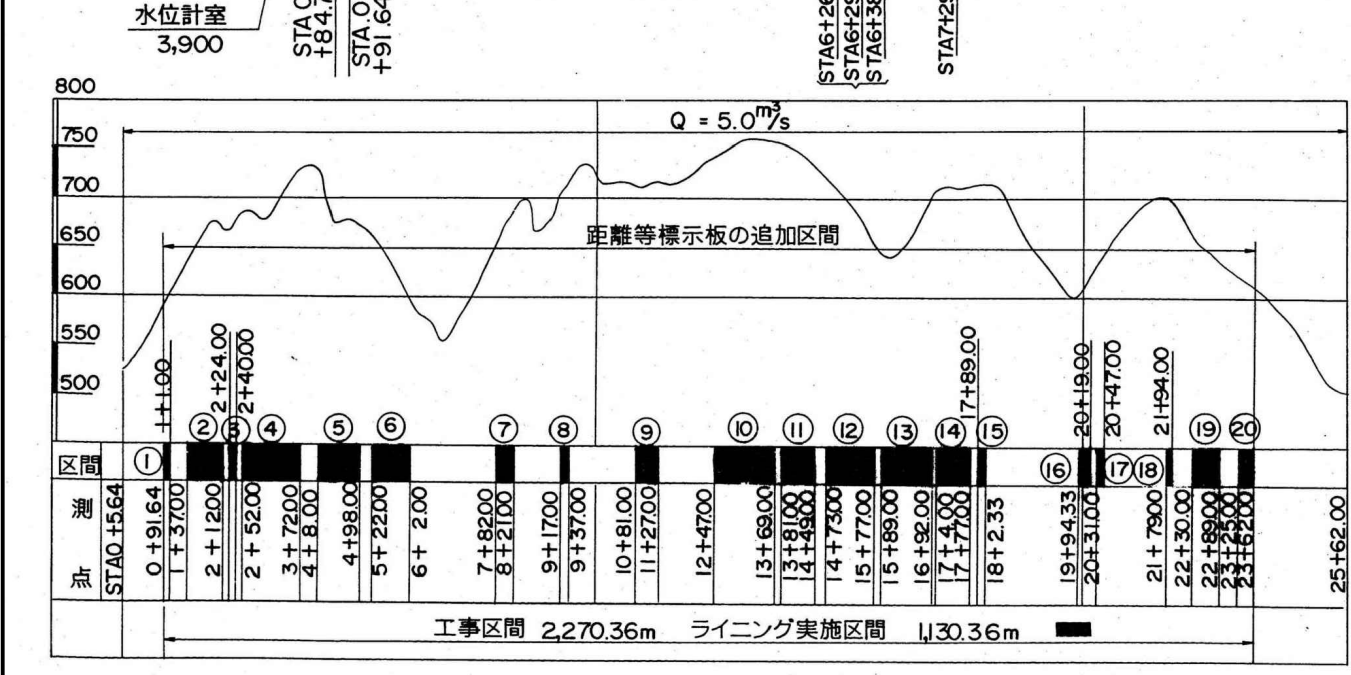
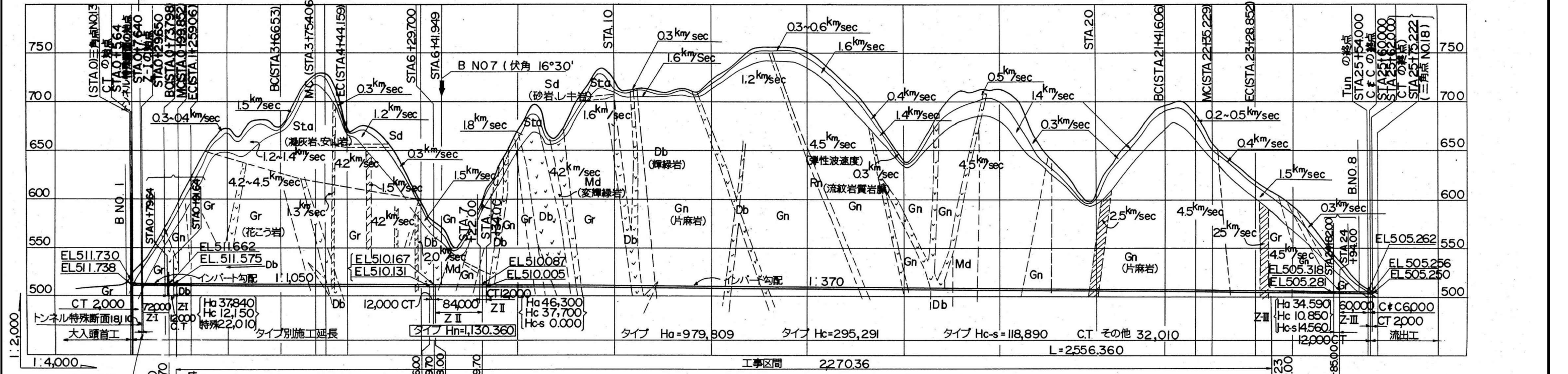
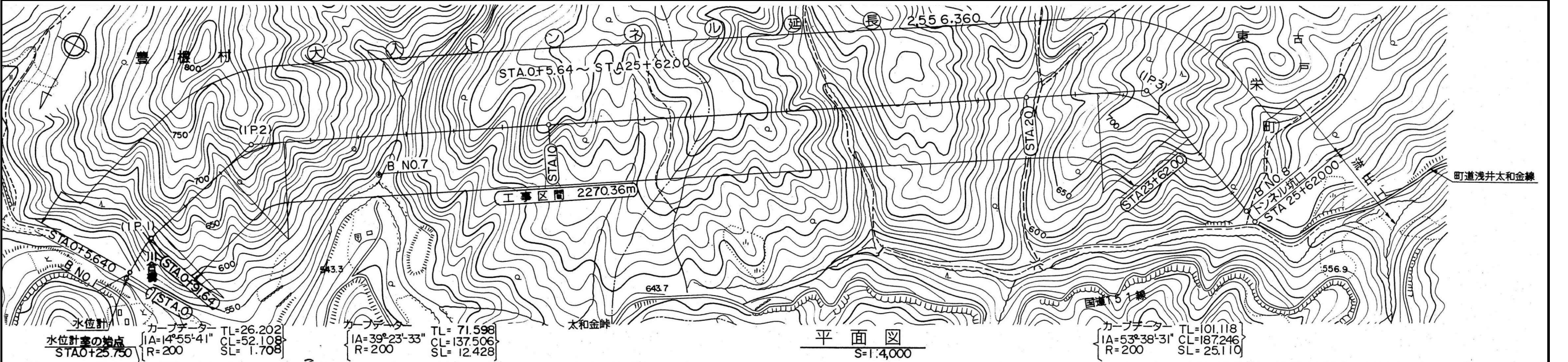
断面 D-D
縮尺 1:30



断面 E-E
縮尺 1:30

注意事項

1. H-11130 C-M の注意事項の内 A.1.2, B.1. を適用する。
2. 本体に肉保接続する護岸工等については、H-11129 C-M に基いて工事設計を行う。



縦断面図
縮尺 V=1:2000
H=1:4000

